

商品安全 検査センターから



「栽培自慢」は、有機栽培品や特別栽培農産物をはじめ、生協独自の栽培自主基準を満たした農作物に対する東海コープの認証制度です。栽培状況についての計画や記録書類を点検し認証委員会で承認します。つまり、い

つどのような肥料や農薬を使用したのかわかる、農場や生産者が特定できる「顔の見える」農産物といえます。

栽培自慢りんごの栽培履歴

りんごの栽培履歴には農薬散布の計画と実施報告が記されています。農地や生産者、品種ごとに、細かな計画と報告を記入し提出いただいています。

このりんご産地の農薬使用回数は県の一般栽培が34回であるのに対し、23回（一般栽培の68%）でした。また、殺虫剤に代えてフェロモンという誘引剤を使用して害虫の繁殖を阻害するなど、環境にも配慮しています。

計画時期	使用日	農薬の成分名	用途	使用回数	収穫の9日前まで使用可能か
開花直前	5月5日	ヘキサコナゾール	殺菌・殺菌	1	
		シラフルホキシド	害虫対応	2	
開花期	5月16日	シラフルホキシド	殺菌・殺菌	3	
		ジフルム	殺菌・殺菌	4	
		クロラントリニプロール	殺菌・殺菌	5	
5月下旬	5月末	フェロモン剤	フェロモンにより、害虫の交配を誘引		
開花14日後	5月31日	マンゼブ	殺菌・殺菌	6	
		チオファネートメチル	殺菌・殺菌	7	
		クロキサニジン	殺菌・殺菌	8	
開花28日後	6月9日	シラフルホキシド	殺菌・殺菌	9	
開花40日後	6月22日	シラフルホキシド	殺菌・殺菌	10	
6月上旬	6月22日	シラフルホキシド	殺菌・殺菌	11	
		シラフルホキシド	殺菌・殺菌	12	
		シラフルホキシド	殺菌・殺菌	13	
6月下旬	7月3日	シラフルホキシド	殺菌・殺菌	14	
		シラフルホキシド	殺菌・殺菌	15	
7月上旬	7月14日	シラフルホキシド	殺菌・殺菌	16	前日まで
		シラフルホキシド	殺菌・殺菌	17	前日まで
		シラフルホキシド	殺菌・殺菌	18	前日まで
7月中旬	7月26日	シラフルホキシド	殺菌・殺菌	19	前日まで
		シラフルホキシド	殺菌・殺菌	20	前日まで
		シラフルホキシド	殺菌・殺菌	21	前日まで
8月上旬	8月6日	シラフルホキシド	殺菌・殺菌	22	前日まで

リンゴの栽培履歴



赤いひもが誘引剤フェロモン



組合員さんの産地見学の様子

農薬は、作物ごとに使用時期、使用回数、使用量が定められており、正しく使用すれば残留基準を超えることはありませんし、残っていても非常に微量で、これは他の農産物でも同様です。

生産者は、適切に栽培計画を立て実施することが大切です。生協ではそれを書類や産地への訪問、さらに検査を行うことで確認しています。

「栽培自慢」は、栽培管理だけでなく、環境への配慮や持続可能性の追求、食育への取り組みも自慢できる商品を対象としています。また産地見学や学習会など組合員さんと生産者が交流し、お互いに顔の見える関係づくりをしています。

履歴を検査結果と照らしてみると…

8月下旬に入荷したこの産地のりんごを検査した結果、農薬は3成分しか検出されませんでした。それぞれの濃度も残留基準の0.2%～3%程度で、適切に農薬が使用されているといえます。

検出された農薬は栽培履歴に照らし合わせると、栽培終期に使用された成分であることがわかります。初中期に使用された農薬は、雨で洗い流されたり、太陽光や微生物による分解で減少・消失、あるいは植物体内で代謝分解されて残っていないと考えられます。



第14回

3・11を忘れない みやぎ生協から 被災地・宮城のいまをお伝えします

コープぎふは、東日本大震災の復興対策に継続して取り組んでいます



待たされる家選び、慣れない住み処

被災地では災害公営住宅の建設が本格化するとともに、被災した人々の入居登録が進んでいます。入居希望者は自分たちの生活再建計画を念頭に、立地や完成時期、入居条件を見て災害公営住宅を選びます。しかし誰もが望み通りに入居できるわけではありません。



左：災害公営住宅に転居後も「ここで友だちがたくさんできたから」とJR南小泉みなし仮設住宅の集会所に通う佐藤勘一さん(左端)・みや子さん(右端)夫妻 右：4月から入居が始まった仙台市若林区の災害公営住宅。中央に集会所が整備されている。



「次に行く場所でも、ここの仮設のように団結力のあるコミュニティができるといいんだけどね」左から花瀧みどりさん、大久保紘子さん、伊達葉子さん

「いつになったら引っ越していいのか」家が決まるまでは仕事や子どもの学校など将来の計画を立てられない。なかには抽選に外れ、長期の避難生活に家族関係が破たんし、災害公営住宅の申し込みを機に離婚に至った人もいます。

高齢者の多くは災害公営住宅を終の住み処と定めますが、慣れるに迷ったりと、南小泉のみなし仮設住宅に住む大久保紘子さんは話します。「入居時に敷金3カ月が必要。家具も買わなきゃならないし、引越補助金が出て負担は大きい」

被災がなければ直面することもなかった人生の選択と厳しい生活です。せめて希望した災害公営住宅で、人の縁にも経済的にも安心して生活を送ってほしいと願わずにはられません。

「次に行く場所でも、ここの仮設のように団結力のあるコミュニティができるといいんだけどね」左から花瀧みどりさん、大久保紘子さん、伊達葉子さん

など、経済的な不安もあります。当初は安く設定された家賃も、数年後には見直して負担が増します。入居先での孤立を防ぐには、コミュニティも重要です。「仮設住宅の集会所はオープンにしているところが多いけれど、災害公営住宅の集会所は鍵をかけてしっかり管理されているでしょ。気軽にふらっと立ち寄ることはできなくなる」と花瀧みどりさんは心配します。

公示 住所不明組合員の 脱退手続きのお知らせ

コープぎふ定款第10条第2項の規定に基づき平成25年3月20日までに住所不明となった組合員さんは、脱退の申し出があったものとみなし、理事会の承認の上、平成27年3月20日の事業年度末に脱退として手続きを行います。

毎年、通常総代会終了後7月中旬頃に「総代会報告及び割戻金のご案内通知」をお届けしております。その結果、あて先不明等何らかの理由でお届けできなかった組合員さんに対しては、電話及びハガキによる所在確認を行っています。その後、3年経って登録された住所では連絡がとれない組合員さんを住所不明組合員としています。

・該当する組合員さんのお名前は、共同購入支所センター・店舗・本部でご確認いただくことができます。
・申し出等により住所が確認できた方は、引き続きコープぎふの組合員さんとさせていただきます、脱退の手続きは行いません。

また、住所不明の組合員さんへは1月中旬に住所確認のお知らせハガキを郵送しておりますのでハガキが届きましたら、最寄の支所センター・店舗や下記問い合わせ先までご連絡いただけますよう、お願いいたします。

2015年2月1日
理事長 川崎直巳

問い合わせ先

生活協同組合コープぎふ 本部経理グループ

TEL 058-370-6862 / FAX 058-370-6868 日曜日を除く8:45～17:30

2014年度 第7回理事会だより 12/10

11月期決算について承認しました

11月期事業結果 単位:百万円

	11月実績	予算差	累計実績	予算差
商品の供給高	2,289	-19	16,736	378
総事業高	2,360	-22	17,272	364
事業経費	473	-11	3,769	-106
経常剰余金	59	15	181	238

組合員数 224,314名 計画比99.5% (加入837名)
出資金 39億1,214万円 一人当たり出資金17,440円

1月20日～2月6日で開催される第1回総代会議の持ち方について確認されました。2014年度の方針・計画づくりを組合員(総代)さんの声で進めていきます。

関市倉知の所有地に太陽光発電システムを設置することを確認しました。太陽光発電システムは、岐阜西支所、多治見支所について3カ所目になります。

岐阜県の郷土食である「鶏ちゃん」のおいしさや文化を広め、地域の活性化を図る目的で、生産・販売者が結成した任意団体「鶏ちゃん合衆国」に加入することが確認されました。

美濃加茂市との高齢者等見守り活動に関する協定に12月15日付けで締結した事が確認されました。美濃加茂市との協定締結により、15市町村・団体との協定締結、通報窓口との連携になりました。